

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 2年3月31日

2次評価日（課長等） 2年3月31日

1 事業名	身元不明者等扶助事業			コード	2418
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	社会福祉課	作成者 宮原 治希
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	福祉の推進	施策	社会保障の円滑な運営
		予算科目	扶助事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	あり
		根拠法令	行旅病人及び行旅死亡人取扱法		

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	行旅人を救護し、行旅の継続可能な状態とする（引取者のいない死亡人を火葬し埋葬する）		
目的	対象者	行旅人、引取者のいない死亡人	
	意図	行旅人（継続可能な状態）、引取者のいない死亡人（火葬し埋葬を行う）	
5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>行旅人に対して、必要な宿泊費や行旅費を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊費の支給0人、行路費の支給7人 ・路上生活者に対する生活福祉資金の支給1人 ・生活困窮者に対する生活福祉資金の支給0人 ・引取者のいない死亡者に対する扶助費の支給1人 		
前年度の課題への対応	行旅人の宿泊費や行旅費について、聞き取りを行い適正な支給を行った。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）			[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	89,000	5,270	171,518	359,000
経常経費	89,000	5,270	171,518	359,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
② 人件費	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
③ 合計コスト(①+②)	1,689,000	1,605,270	1,771,518	1,959,000
前年度比		95.0%	110.4%	110.6%
財源内訳	1,689,000	1,605,270	1,771,518	1,959,000
一般財源				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ コストに関する補足説明				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法外支援であり、予算の執行にあたっては他に救済制度等ないか慎重に検討する必要有。 ・ 死亡行旅人への扶助費支出に際し、本人の遺留金品を、その支出に充当できるとなっているが、預金である場合に金融機関が応じてくれない場合や、相続人の特定について、親族の協力が得られない等、遺留金の活用がスムーズに行えない。
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法外支援であり、制度の狭間にある者に対して適正な執行に努める。 ・ 遺留金品の活用においては、金融機関への個別折衝では解決しないため、自治体の総意としての要望を上げていく必要がある。
改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	---	---